

令和6年度
砥部町下水道事業会計

決算審査意見書

砥部町監査委員

目 次

1	審査について	
	(1) 審査対象	1
	(2) 審査期日	1
	(3) 審査の方法	1
2	審査の結果	1
3	決算の概要	
	(1) 下水道事業の業務状況	2
	(2) 収支の状況	
	① 収益的収入及び支出	2
	② 資本的収入及び支出	3
	(3) 経営成績	
	① 経常収支について	4
	② 汚水処理原価の状況	4
	③ 費用使途別構成比	5
	(4) 企業債の状況	5
	(5) 資産の状況	6
4	結び	7

凡 例

本書における数値等の取り扱いについては、以下のとおりである。

- 文中及び各表中の金額は、原則として千円単位で表示し、単位未満を四捨五入して表示した。したがって、内訳の計が「合計」又は「小計」の金額と一致しない場合がある。
- 比率(%)は、原則として小数点以下第2位を四捨五入して第1位まで表示した。したがって、内訳の構成比の計が「合計」の数値と一致しない場合がある。
- 前年度との比較は、原則として項目ごとに千円単位に四捨五入したうえで、差引数値又は増減比を算出している。
- 各表中の符号の用法は、次のとおりである。
 - 「0.0」・・・ 該当数値はあるが、表示単位未満のもの
 - 「-」・・・ 該当数値がない場合又は比率で計算不能の場合
 - 「△」・・・ 負数を示し、増減を示すときは減を表す

1 審査について

(1) 審査対象

令和6年度砥部町下水道事業会計決算

(2) 審査期日

令和7年7月30日

(3) 審査の方法

町長から審査に付された決算報告書、財務諸表及び決算附属書類が地方公営企業法その他関係法令の規定に基づいて作成され、また、それらが事業の経営成績及び財政状態を正確かつ適正に表示しているか否かについて審査した。

審査にあたっては、事業報告書等、事業実態の詳細について、関係職員の説明を聴取し、関係証憑の確認を実施するとともに、例月現金出納検査等の結果も参考とした。

2 審査の結果

決算報告書、財務諸表、事業報告書及び附属明細書は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は証書類と符合し正確であり、当事業の当年度の経営成績及び財政状態を適正に表示されているものと認められた。

予算の執行は、適正であると認められた。

3 決算の概要

(1) 下水道事業の業務状況

年度	処 理 区 域 内 人 口 (人)	接 続 人 口 (人)	下 水 道 接 続 率 (%)	汚 水 処 理 人 口 普 及 率 (%)	日 平 均 汚 水 処 理 量 (m ³)	年 有 水 間 収 量 (m ³)	有 収 率 (%)
6	10,157	7,749	76.3	80.7	2,229	811,862	99.8
5	10,094	7,618	75.5	80.8	2,073	756,986	100.0

(2) 収支の状況

① 収益的収入及び支出

単位：千円

		6年度		5年度
		予算現額	決算額	決算額
収 入	営業収益	153,720	161,399	155,830
	営業外収益	330,581	307,803	310,671
	特別利益	50	0	599
	計	484,351	469,202	467,100
支 出	営業費用	441,427	433,114	433,262
	営業外費用	6,385	6,364	3,018
	特別損失	60	—	—
	予備費	1,000	—	—
	計	448,872	439,478	436,280
収支差引額		35,479	29,724	30,820

収入は、予算現額4億8,435万1千円に対し、決算額4億6,920万2千円で、収入率は96.8%となっている。

支出は、予算現額4億4,887万2千円に対し、決算額4億3,947万8千円で、執行率は97.9%となっている。

決算額における収入と支出の差額は2,972万4千円の黒字となっている。

② 資本的収入及び支出

単位：千円

		6年度		5年度
		予算現額	決算額	決算額
収 入	企業債	246,500	97,200	154,000
	固定資産売却代金	0	0	87
	補助金	154,177	88,459	121,163
	負担金及び分担金	10,090	13,816	17,045
	他会計負担金	17,613	14,652	3,402
	他会計出資金	20,000	20,000	20,000
	計	448,380	234,127	315,697
支 出	建設改良費	465,804	209,169	333,230
	企業債償還金	165,902	165,901	160,705
	基金組入支出	28	28	33
	計	631,734	375,098	493,969
収支差引額		△ 183,354	△ 140,971	△ 178,272

収入は、予算現額4億4,838万円に対し、決算額2億3,412万7千円で、収入率は52.2%となっている。

支出は、予算現額6億3,173万4千円に対し、決算額3億7,509万8千円で、執行率は59.4%となっている。なお、建設改良費2億875万6千円を翌年度へ繰り越している。

資本的収入額（翌年度へ繰り越される支出の財源に充当する額30,725,000円を除く。）が資本的支出額に対し不足する額171,696,074円については、前年度から繰り越された支出に係る充当財源16,000,000円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額8,474,119円及び過年度分損益勘定留保資金147,221,955円で補てんしている。

(3) 経営成績

① 経常収支について

単位：千円

		6年度	5年度
経常 収益	営業収益	147,252	142,150
	営業外収益	301,434	294,133
	計(A)	448,686	436,283
経常 費用	営業費用	419,734	419,903
	営業外費用	7,702	4,008
	計(B)	427,436	423,911
経常損益(A) - (B)		21,250	12,372
特別 損益	特別利益	0	544
	特別損失	0	0
当年度純利益		21,250	12,916

経常収支は、経常収益4億4,868万6千円に対し、経常費用4億2,743万6千円で、特別利益を加えた当年度純利益は2,125万円となっている。

② 汚水処理原価の状況

単位：m³・円/m³・%

年間有収水量			汚水処理原価		
6年度	5年度	増減率 (6年度： 5年度)	6年度	5年度	増減率 (6年度： 5年度)
811,862	756,986	7.2	213	237	△ 10.1

汚水処理原価は213円/m³となっている。

③ 費用使途別構成比

単位：千円・%

	6年度		5年度		増減率 (6年度： 5年度)
	金額	構成比	金額	構成比	
人件費	38,518	9.0	44,927	10.6	△ 14.3
動力費	22,992	5.4	21,206	5.0	8.4
物件費その他	112,549	26.3	114,265	27.0	△ 1.5
減価償却費等	247,013	57.8	240,738	56.8	2.6
支払利息	6,364	1.5	2,775	0.7	129.3
特別損失	—	—	—	—	—
計	427,436	100	423,911	100	0.8

使途別では、減価償却費等及び物件費その他が主に占めている。

前年度対比では、動力費、減価償却費等・支払利息が増加し、人件費・物件費その他が減少している。

(4) 企業債の状況

単位：千円

資金区分	5年度末残高	年度中		6年度末残高
		借入額	償還額	
財政融資資金	3,445,439	97,200	127,134	3,415,505
旧簡保資金	232,526		16,906	215,620
地方公共団体金融機構資金	240,773		20,747	220,025
銀行等引受資金	8,822		1,114	7,708
計	3,927,560	97,200	165,901	3,858,858

管渠布設工事等に伴い、9,720万円を借入れ、未償還残高は6,870万2千円減少し、38億5,885万8千円となっている。

(5) 資産の状況

単位：千円

		6年度	5年度	増減
固定資産	有形固定資産	9,017,213	9,063,465	△ 46,252
	基金	108,041	108,013	28
	計	9,125,253	9,171,478	△ 46,225
流動資産	現金・預金	233,228	307,725	△ 74,497
	未収金	44,847	42,999	1,848
	前払金	61,451	32,000	29,451
	計	339,526	382,724	△ 43,198
合計		9,464,780	9,554,202	△ 89,422

固定資産は、管渠整備の繰り越しに伴い4,622万5千円減少しており、除却及び減価償却後の未償却残高は91億2,525万3千円となっている。

流動資産は4,319万8千円減少し、3億3,952万6千円となっている。

基金明細

単位：千円

	6年度当初残高	年度中		6年度末残高
		増加額	減少額	
町有施設管理基金（短期）	50,000	28	0	50,028
町有施設管理基金（長期）	58,013	0	0	58,013
計	108,013	28	0	108,041

6年度の条例改正により、浄化槽事業で保管する基金を町有施設管理基金に統合。預金利息を積み立て、1億804万1千円となっている。

4 結び

下水道管渠布設工事などに多額の費用を要しているが、適正な入札執行等により経費の節減に努めていることが窺える。

確認した書類の計数に問題はなく、経営状況も概ね良好であると見受けられた。

公営企業を取り巻く環境は、人口減少による料金収入減少や施設の老朽化による更新需要の増加で、今後ますます厳しくなることが予想されるため、引き続きコスト意識を持った効率的な執行と徹底した経費節減に努められたい。

また、公共下水道全体計画区域の縮小を踏まえ、令和6年度に改定された「下水道経営戦略」において、見直された投資・財政計画に沿った更なる経営の効率化・健全化への取組を推進されたい。

この事業の一番の課題は「接続率の向上」にあると思われるので、これについて不断の努力を望むものである。